

令和3年度

【令和3年4月～令和4年3月】

西東京市環境白書 環境活動レポート



令和5年2月



西東京市

目次

1.環境白書・環境活動レポートについて.....	1
1-1 環境白書・環境活動レポートの役割.....	1
1-2 環境白書・環境活動レポートの構成.....	1
2.関係計画について.....	2
3.環境方針.....	3
4.推進体制.....	4
5.西東京市の概要.....	5
6.西東京市第2次環境基本計画後期計画の取組状況.....	7
基本方針1	7
基本方針2	9
基本方針3	10
基本方針4	11
基本方針5	12
7.市の事務事業による温室効果ガス削減の取組.....	16
7-1 エネルギーに関する取組状況.....	16
7-2 各課の環境活動.....	23
7-3 内部環境監査.....	34
7-4 職員研修.....	34
7-5 環境コミュニケーション.....	34
7-6 環境法規制等の遵守状況.....	35
8.市長による全体評価及び今後の取組.....	35

環境白書

環境活動レポート



西東京市マスコットキャラクター

いこいな ©シンエイ/西東京市

自然と生き物のふれあいを守る森の妖精です。
西東京いこいの森公園でみどりや生き物を育てる
お手伝いをしています。

1. 環境白書・環境活動レポートについて

1-1 環境白書・環境活動レポートの役割

令和3年度「西東京市環境白書・環境活動レポート」は、次の4つの役割を果たします。

【環境白書】

- ☆ 「西東京市環境基本条例」第16条に基づき、市域の環境の状況及び環境保全施策の実施状況の公表
- ☆ 「西東京市第2次環境基本計画後期計画」の進捗状況の点検・評価

【環境活動レポート】

- ☆ 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づき、「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）」の実施状況の公表
- ☆ 「西東京市環境マネジメントシステム」による市の環境活動の取組状況の報告

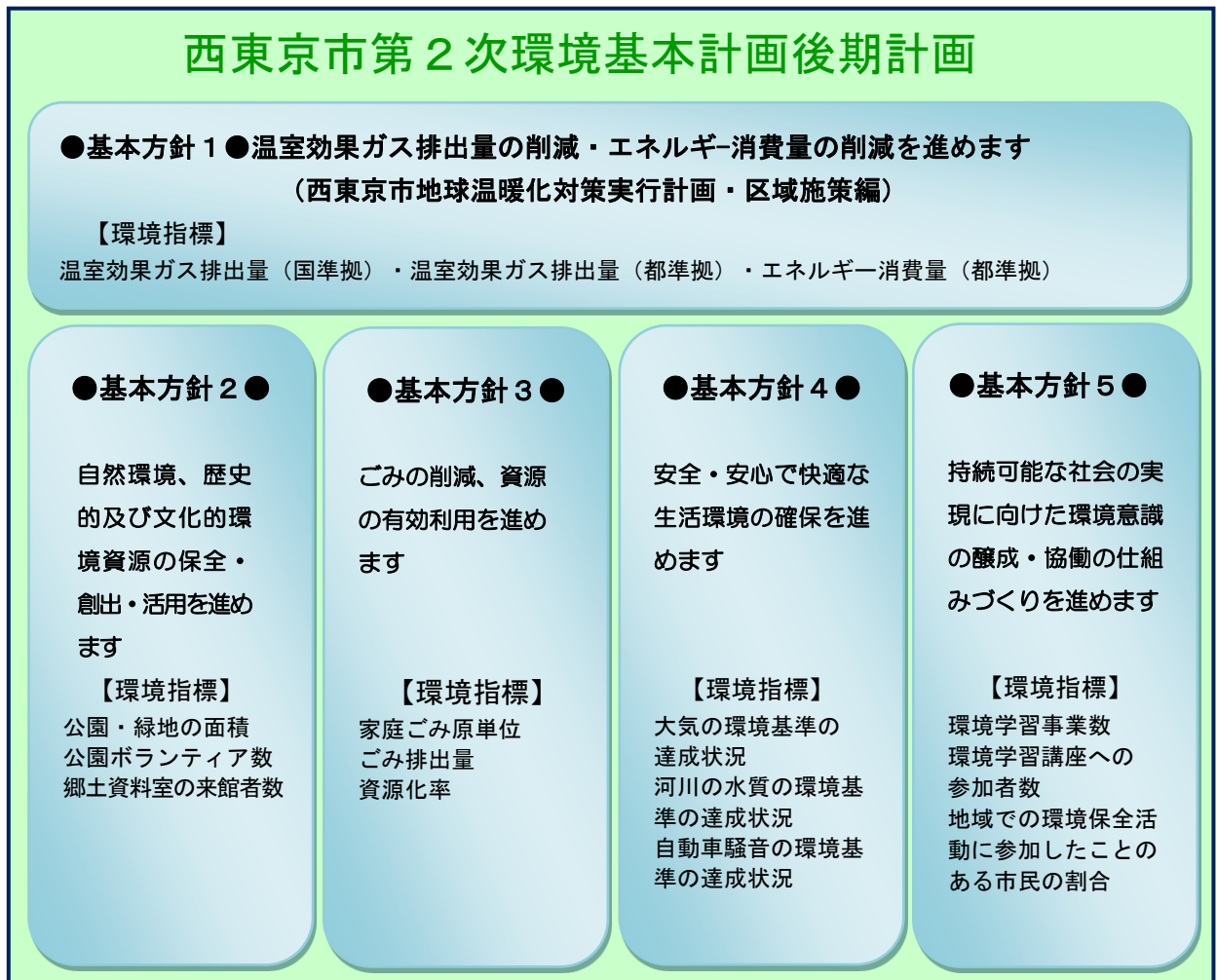
環境白書は、「西東京市第2次環境基本計画後期計画」（以下、「後期計画」という。）に基づく取組状況や環境指標に対する目標の達成状況を点検・評価します。また、西東京市の環境の状況や施策・事業の取組状況を把握し、報告します。平成31（2019）年3月に策定した後期計画は、「西東京市環境基本条例」に基づいて市の環境の保全に関して長期的な目標を定めた「西東京市第2次環境基本計画」（平成26（2014）年3月策定）（以下、「2次計画」という。）策定から5年が経過し、計画の中間見直しの時期を迎えたことを受け、近年の複雑化する様々な環境問題や深刻化する地球温暖化に対し、より効果的な対策を行うため、2次計画を見直し「西東京市地球温暖化対策地域推進計画（平成22（2010）年3月策定）」を「西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編」として新たに包含した他、SDGs（持続可能な開発目標）の目標実現への貢献という視点を加えた計画です。後期計画では、2次計画に引き続き西東京市のめざす環境の将来像を「自然とのふれあいを皆で大切に育む すごしやすい安心なまち 西東京」とし、5つの基本方針とそれらを実現するための指標や取組の方向を設定しています。

また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、令和2（2020）年3月に策定した「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）」では、市のすべての事務事業を対象範囲として、エネルギー起源二酸化炭素の管理（カーボン・マネジメント）を強化しています

1-2 環境白書・環境活動レポートの構成

前半は、西東京市の環境の現状及び「西東京市第2次環境基本計画後期計画」の環境指標に対する達成状況をまとめた「環境白書」であり、後半は、市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量削減の取組をまとめた「環境活動レポート」となっています。

2.関係計画について



西東京市第二次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)後期計画(改訂版)

推進体制

首脳部会議(環境経営本部の機能)
環境マネジメントシステム

報告書

環境白書・環境活動レポート

3.環境方針

西東京市環境方針

1 基本理念

地球温暖化の影響と考えられる大型台風、集中豪雨、記録的猛暑などの異常気象は、私たちの生活に多大な影響をもたらすほか、生物多様性の劣化を進めるなど地球規模の環境問題を顕在化させています。この地球温暖化を防止するため、世界的な脱炭素化の潮流が広がる中、西東京市（以下「市」という。）も国際社会の一員として、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を目指すことが必要です。

市は、「西東京市第2次環境基本計画（後期計画）」「西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編」に基づき市内の環境保全に取り組むとともに、2022年2月の「西東京市ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえ、市民、事業者及び市での脱炭素社会づくりに努めます。

いつまでも元気な地球を守り、きれいな地球を未来の人たちへつなぐため、あらゆる環境問題の改善に継続的に取り組むことで、生物多様性の恵みを受けながら持続的に発展・成長する世界に貢献します。

2 基本方針

基本理念の実現のため、次の項目に取り組みます。

(1)市の事務・事業について環境マネジメントシステムにより、PDCAサイクルに基づく継続的改善を図り、温室効果ガスの排出量削減など、環境負荷の低減に努めます。

①市の事務・事業にかかわる全ての活動において、省エネルギー・省資源化に努めること、及び公共施設における再生可能エネルギーの導入を推進します。

②公共工事、委託業務における環境負荷の低減に努めます。

③使い捨てプラスチックの排出を削減するなど廃棄物の減量及びリサイクルを推進します。

④エコドライブの実践、環境に配慮した車の導入を推進します。

⑤物品等の調達時には、グリーン購入基準に基づき、より高い環境性能がある品目を選択します。

⑥職員全員に基本理念を周知するとともに環境情報の提供・研修等を行い、職員の環境保全への意識の向上を図ります。

(2)二酸化炭素の吸収源となるみどりを保全するとともに新たな創出を行います。

(3)イベントによる環境に関する情報発信及び啓発とともに、環境学習を推進することで、環境意識の高揚を図ります。

(4)市域の二酸化炭素削減に資するよう、市民及び事業者への支援に努めます。

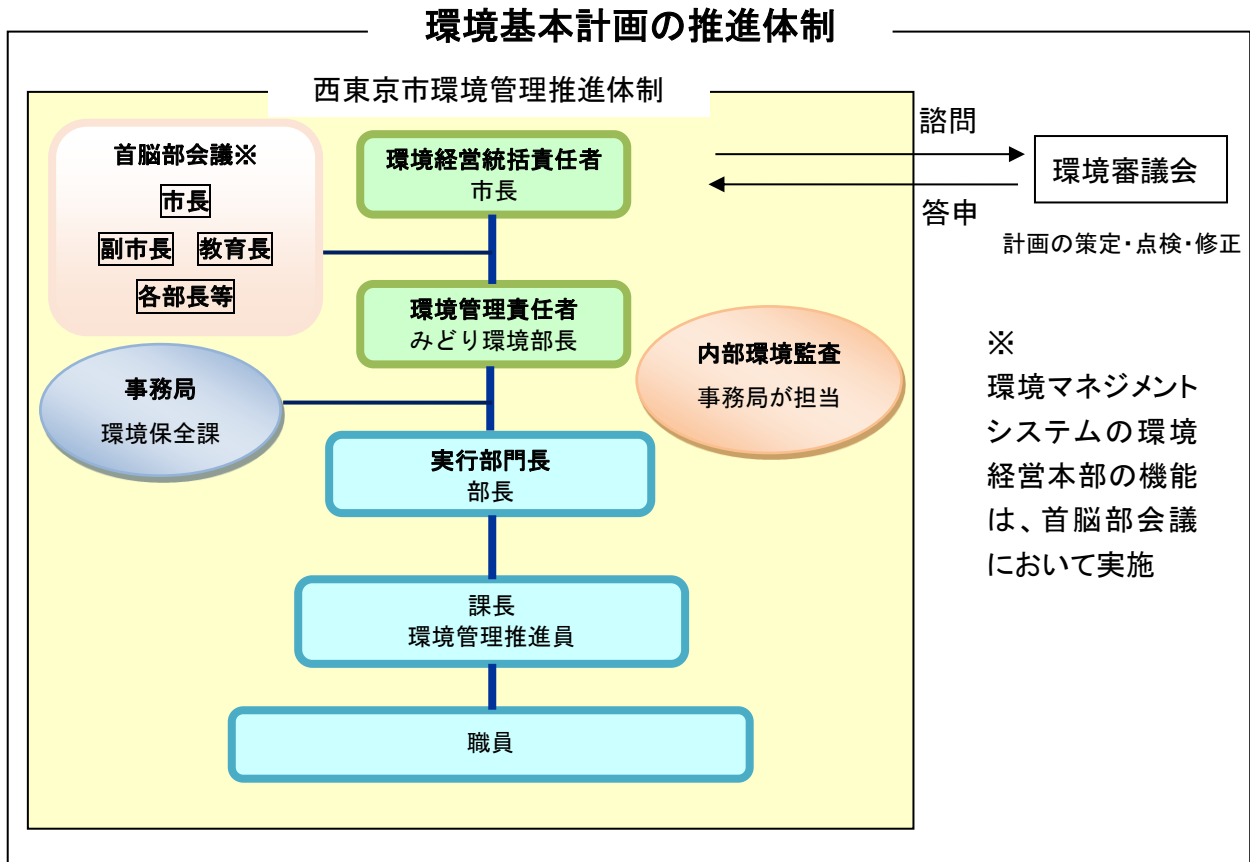
(5)環境白書（環境活動レポート）を作成し、市の活動内容を公表します。

(6)市の環境状況を把握するため、各種環境測定や監視を継続し、公表します。

令和4年2月21日

西東京市長 池澤 隆史

4.推進体制



【環境マネジメントシステム対象組織】

全組織が対象範囲となります。

部	課・施設
企画部	企画政策課 財政課 公共施設マネジメント課 秘書広報課 情報推進課
総務部	総務課 職員課 建築営繕課 契約課 危機管理課
市民部	市民課 保険年金課 市民税課 資産税課 納税課
健康福祉部	地域共生課 生活福祉課 高齢者支援課 障害福祉課 健康課
子育て支援部	子育て支援課 幼児教育・保育課 児童青少年課 子ども家庭支援センター 保育園 児童館 学童クラブ
生活文化スポーツ部	文化振興課 スポーツ振興課 産業振興課 協働コミュニティ課
みどり環境部	みどり公園課 環境保全課 ごみ減量推進課
まちづくり部	都市計画課 住宅課 交通課 建築指導課
都市基盤部	道路課 用地課 下水道課
会計管理者	会計課
教育委員会 教育部	教育企画課 学務課 教育指導課 教育支援課 社会教育課 公民館 図書館 市立小中学校
議会事務局	
選挙管理委員会事務局	
監査委員事務局	

5.西東京市の概要

西東京市は、東京都区部の西部地域に隣接し、武蔵野台地のほぼ中央に位置しています。都心から約 20km で、西武新宿線と西武池袋線で都心と結ばれ、市内には5つの駅（田無駅・ひばりヶ丘駅・保谷駅・西武柳沢駅・東伏見駅）があります。都心部とのアクセスが非常に良く、住宅都市として発展してきています。市内の各所に雑木林・屋敷林・農地がみられ、武蔵野の面影が残されています。



《西東京市の概況》

面積	15.75km ²
人口・世帯数 (外国人住民を含む。)	205,726 人 100,573 世帯(令和4年4月1日現在)

《事業所の概況》

自治体名	西東京市
代表者	市長 池澤 隆史
所在地	東京都西東京市南町五丁目6番13号
令和3年度当初予算額（一般会計）	72,230,000 千円
職員数	972 人(令和3年4月1日現在)

《事業活動の内容》

一般行政事務、保育、教育等市民の日常生活に密接に関係する様々な行政サービスの提供

《環境に関する条例の制定及び計画の策定・環境マネジメントシステムの取組》

	条例の制定及び計画の策定	環境マネジメントシステムの取組
平成14年4月	環境基本条例制定	
平成15年10月		I S O 14001 認証取得
平成16年3月	環境基本計画策定	
平成17年3月	地球温暖化対策実行計画策定	
平成18年4月	環境基本条例改正	
平成18年10月		I S O 14001 更新
平成20年3月	地球温暖化対策実行計画（後期実行計画）策定 環境配慮行動の指針策定 環境学習基本方針策定	
平成20年7月		環境方針策定
平成20年8月		エコアクション21 運用開始
平成21年3月	環境基本計画後期計画策定	
平成21年4月		エコアクション21 認証取得
平成22年3月	地球温暖化対策地域推進計画策定	
平成22年6月		環境方針改訂
平成23年3月	第二次地球温暖化対策実行計画策定	エコアクション21 更新
平成25年3月		エコアクション21 更新
平成25年9月		環境方針改訂
平成26年3月	第2次環境基本計画策定	
平成27年3月		エコアクション21 更新
平成28年3月	第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画策定	
平成29年4月		カーボン・マネジメントシステム導入
平成31年3月	第2次環境基本計画後期計画策定	
令和2年3月	第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）策定	
令和4年2月	ゼロカーボンシティ宣言 西東京市ゼロカーボンシティガイドラインの策定	

6.西東京市第2次環境基本計画後期計画の取組状況

基本方針1

温室効果ガス排出量の削減・エネルギー消費量の削減を進めます (西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編)

温室効果ガスの排出量及びエネルギー消費量の削減に向け、公共施設において省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの導入利用、二酸化炭素吸収源としてのみどりの保全や再生等を率先して行います。

また、市民や事業者の自主的な取組を後押しし、市民・事業者・市が一体となった取組を進め、低炭素社会の実現を目指します。

一方、避けることが困難であると予想される地球温暖化による様々な影響への適応について、検討を行います。

環境指標※	令和12(2030) 年度目標値	令和元 (2019) 年度実績※	前年度比 (増減率)	平成30 (2018) 年度実績※	担当課
温室効果 ガス排出量 (国準拠)	443 千t-CO ₂ 平成25(2013) 年度比26%減	532 千t-CO ₂	▲14 千t-CO ₂ ▲2.6%	546 千t-CO ₂	環境保全課
温室効果 ガス排出量 (都準拠)	360 千t-CO ₂ 平成12(2000) 年度比30%減				
エネルギー 消費量 (都準拠)	4,327TJ 平成12(2000) 年度比38%減	5,361TJ	▲21TJ ▲0.4%	5,382TJ	

※オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の公表数値

温室効果ガス排出量の削減目標は、国と東京都に準拠した2つの目標を掲げます。また、温室効果ガスの排出量は排出係数の影響を受けることから、東京都に準拠したエネルギー消費量の削減目標も掲げます。

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」が公表している最新の令和元(2019)年度の数値はいずれも前年度より減少しております。ただし、目標値の達成は厳しい状況となるため、市民、事業者、市が一体となり、徹底した対策を行う必要があります。

【西東京市ゼロカーボンシティガイドラインにおける目標値】

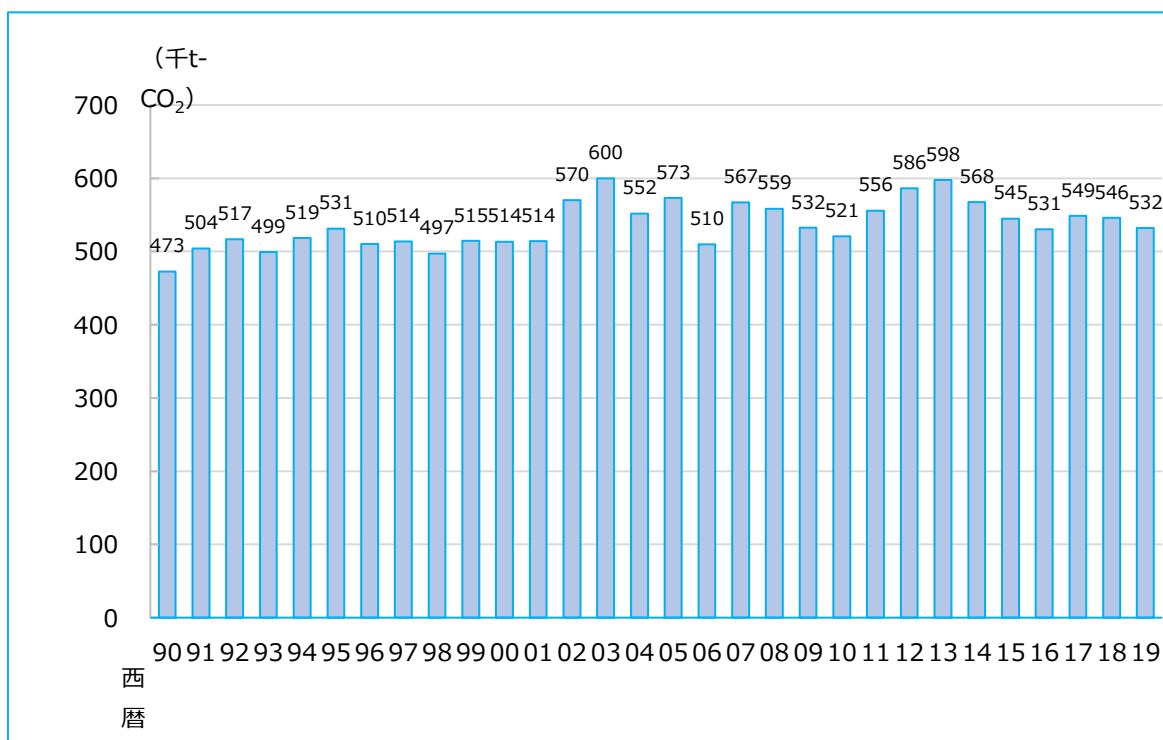
西東京市では、これまで地球温暖化防止に取り組んでおりますが、環境負荷の少ないまちを次世代につなぐため、令和4年2月にゼロカーボンシティ宣言を行うとともに、「西東京市ゼロカーボンシティガイドライン」を策定し、西東京市内で排出される温室効果ガス削減量の目標を以下のとおり新たに決めました。

- 2050年までに「温室効果ガス排出量を実質ゼロ」を目指します。
- 中間目標として、2030年度までに温室効果ガスの排出量を2013年度比（国基準年度）46%削減を目指します。

上記の目標値での削減割合は以下のとおりです。

基準年度（2013年度）排出量	2019年度排出量	中間目標（2030年度目標）	2050年目標
598千t-CO ₂ （A）	532千t-CO ₂ （B） 基準年度比11.0%削減	322千t-CO ₂ （C）	温室効果ガスの実質ゼロ
		2013年度比46%削減	
		2030年度目標までの達成率 23.9%達成 $(A-B) / (A-C) \times 100$	

西東京市内の温室効果ガス排出量の推移



資料：みどり東京・温暖化防止プロジェクト

基本方針2

自然環境、歴史的及び文化的環境資源の保全・創出・活用を進めます

みどりの保全・創出・活用を進めるとともに、生命に満ちあふれた自然環境を育てるために、生物多様性の保全に取り組み、自然とふれあうことができ、みどりあふれる西東京市を目指します。

また、国史跡下野谷遺跡をはじめとした市内の文化財の保存・活用を進めるとともに、社寺等の歴史的及び文化的環境資源として守られてきた貴重な自然環境も将来世代へ引き継いでいくよう努めます。

環境指標	令和5 (2023)年度 目標	令和3 (2021)年度 実績	前年度比 (増減率)	令和2 (2020)年度 実績	担当課
公園・緑地の 面積	255,132 m ²	257,853 m ²	0 m ² 0%	257,853 m ²	みどり公園課
公園 ボランティア 数	890 人	926 人	81 人 9.6%	845 人	みどり公園課
郷土資料室の 来館者数	3,000 人	2,236 人	192 人 9.4%	2,044 人	社会教育課

令和3年度は、公園の開閉園が無いため、公園・緑地面積に増減はありませんでした。公園ボランティアは、市内の公園・緑地にて、花植え、除草、清掃等の活動を実施しています。人数は増加傾向にあります。

郷土資料室は、市内の郷土資料（考古資料・歴史資料・民具・民俗資料）を収集・保管・保存・展示するための施設です。旧石器時代の石器、縄文時代の土器、鎌倉・室町時代の板碑、江戸時代の高札、蕪山笠や、元市内在勤者が制作した歴史ジオラマ12景などの郷土資料を5つの展示室で公開しています。常設展の他、夏休みの時期に合わせたワークショップや、企画展1回を実施しました。また、学校教育や生涯学習と連携し、団体見学などを受け入れました。



基本方針3**ごみの削減、資源の有効利用を進めます**

循環型社会をさらに推進するために、市民の意識づくりや、ごみの発生抑制、再使用、再生使用を推進します。

また、ごみの発生抑制や資源化の取組に一定の成果を挙げている事業者、環境に配慮している事業者の支援や柳泉園組合におけるごみの効率的な共同処理等を進めます。

市民・事業者・市が一体となつてごみの削減と資源化を推進し、環境負荷の少ない資源循環型社会の構築を目指します。

環境指標	令和5 (2023) 年度目標	令和3 (2021) 年度 実績	前年度比 (増減率)	令和2 (2020) 年 度実績	担当課
家庭ごみ 原単位 ^{※1}	347g/人・日	369g/人・日	▲12 g/ 人・日 ▲3.1%	381g/人・日	ごみ減量 推進課
ごみ 排出量 ^{※2}	31,053t/年	34,121t/年	▲756 t/年 ▲2.2%	34,877t/年	ごみ減量 推進課
資源化率 ^{※3}	37.1%	32.5%	▲0.1%	32.6%	ごみ減量 推進課

※1 家庭から排出される、1人1日当たりの平均ごみ量（可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ+有害ごみ）

※2 家庭から排出されるごみと、柳泉園組合へ搬入されるごみ量の合計（家庭ごみ+自己搬入可燃ごみ）

※3 一般廃棄物の総排出量に対する、回収された資源の量の割合（分別回収資源物排出量+集団回収資源物排出量）／（資源ごみ排出量+ごみ排出量）

西東京市の1人1日当たりのごみの排出量は、人口10万人以上50万人未満の区市町村において、令和2年度実績全国7位となっています。また、資源化率は全国で10位となっています。

家庭ごみ原単位及びごみ排出量は、前年度と比較し横ばいです。近年の傾向として、人口の増加及び新型コロナウイルス感染の影響により、外出の抑制による家庭ごみの増加があげられます。

資源化率は前年度と横ばいになっています。資源物では有用金属の売払いや生ごみ及び剪定枝無料回収による堆肥化を実施しており、昨年度に引き続き、生ごみ回収約300世帯、剪定枝600tを回収し、資源化の推進に取り組んでいます。

基本方針4

安全・安心で快適な生活環境の確保を進めます

安全・安心で、快適な生活環境とするために、大気や河川等のモニタリング、交通環境の充実、市内美化の推進等を継続して実施します。

また、道路の段差解消等バリアフリー化や電線類地中化を進めるとともに、マイカーに過度に頼らず移動しやすい低炭素な交通環境の実現等、子どもから高齢者まですべての世代に配慮されたまちを目指します。

環境指標	令和5（2023） 年度目標	令和3（2021） 年度実績	令和2（2020） 年度実績	担当課
大気 の環境基準※1 の達成状況	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 1/1 (達成地点/測定地点)	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	環境保全課
河川の水質 の環境基準 の達成状況	環境基準以下を維持 (BOD 3mg/L 以下) (石神井川溜漕橋)	BOD 0.9mg/L	BOD 0.9mg/L	
自動車騒音 の環境基準 の達成状況	昼間 100% 夜間 100%	昼間 100% 夜間 81%	昼間 95% 夜間 85%	

※1 二酸化窒素…1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下
浮遊粒子状物質…1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下かつ、1時間値が0.20 mg/m³以下
光化学オキシダント…1時間値が0.06ppm以下

二酸化窒素、浮遊粒子状物質の濃度は、測定地点全てで環境基準を下回り、目標を達成しています。光化学オキシダントについては、令和3年度は、注意報（0.12 ppm以上）が3回（前年度2回）、学校情報（0.10 ppm以上）が9回（前年度12回）発令され、環境基準を達成できませんでした。

河川の水質（BOD）の数値は0.9mg/Lとなっており、環境基準以下の維持を継続しています。

自動車騒音の環境基準の達成状況については、昼間（6時から22時）は目標達成しましたが、夜間（22時から翌6時）は前年度よりも低下しました。

基本方針5

持続可能な社会の実現に向けた 環境意識の醸成・協働の仕組みづくりを進めます

環境の将来像を実現するために、市民・事業者・市のすべての人々の環境に対する意識の向上と自発的な環境保全活動への参加が重要となることから、環境に関する情報を発信し、市民や事業者が環境保全活動に参加しやすい環境を提供していきます。

また、次世代を担う子どもたちに環境教育・環境学習の場を提供するとともに、SDGsの概念の普及・啓発を行い、持続可能な社会の実現に向けた環境意識の醸成を進めます。

環境指標	令和5 (2023)年度 目標	令和3 (2021)年度 実績	前年度比 (増減率)	令和2 (2020)年度 実績	担当課
環境学習 事業数	140事業 を維持	69事業	▲3事業 ▲4.2%	72事業	環境保全課 ほか
エコプラザ西東京環境学習講座 への参加者数	1,500人 を維持	350人	▲87人 ▲19.9%	437人	環境保全課
地域での環境保全活動に参加した ことのある市民の割合	10%	—	—	— (参考) 9% ^{※1}	環境保全課

※1 西東京市第2次環境基本計画後期計画策定に伴う市民意識調査結果より（平成30年8月実施）

環境学習事業数は、各部署で実施している参加型体験型の事業やイベント等の総数です。令和3年度は、環境保全課のほか、みどり公園課、公民館で環境学習事業を実施しましたが、新型コロナウイルスの影響により、従前より事業数、参加者数が減少しています。

主催	内容
みどり公園課 (2回)	みどりの散策路めぐり ①こもれ日の道コース ②まちの里山コース
環境保全課(延べ22回)	エコプラザ西東京主催事業(13講座)

○エコプラザ西東京主催事業 13 講座の内訳

開催順

No.	内 容	参加数(人)
1	御朱印帳を作ろう	18
2	新聞ブローチとエコキャップのマグネットミニ帽子を作ろう！	6
3	夏休み自由研究 2021 エコあそび	60
4	夏休み自由研究 2021 風と遊ぼう～風向計と風車を作る①風向計、②風車	43
5	夏休み自由研究 2021 竹とんぼを作ろう	61
6	夏休み自由研究 2021 マスキングテープでオリジナルうちわを作ろう	58
7	和布でブックカバーを作ろう	19
8	不要になった傘布でつくる「エコバッグ」	24
9	知っておきたい！省エネ住宅～新築・リフォームのポイント～	11
10	知っておくと役立つ！LED 電球の話	10
11	「COOL CHOICE」行動しよう！～家庭でできる身近な取り組み～	4
12	できることから始めよう！楽しみながら省エネ生活	6
13	「環境漫画ポスターを描こう」～プロの漫画家から学ぼう～	30

石神井川をきれいに

石神井川の豊かな自然を回復し、多くの生き物が住めるきれいな河川環境にするため、都立保谷高校国際交流委員会の生徒が清掃活動を行っています。令和3年度は3回活動を行いました。

環境保全課では、活動の様子について市のホームページなどを通じて紹介することで、多くの方に清掃活動への参加を呼びかけています。





夏休み自由研究 エコあそび



環境漫画ポスターを描こう



不要になった傘布でつくる「エコバッグ」



和布でブックカバーを作ろう

環境フェスティバル

11月21日(日) 田無アスタ専門店街 2階センターコートで開催しました。

「ストップ温暖化 未来につなげる」と題して、COOL CHOICE (=賢い選択) 賛同登録、環境省「2100年 未来の天気予報」DVD上映会、パネル展、LEDあかり実験、0円均一(不用品リユース地域活動)などを行い、198の方が来場しました。



主 催	内 容
公民館（延べ42回）	<p>【柳沢公民館】</p> <p>①親子で楽しむ講座 水辺の生物（3回）</p> <p>【芝久保公民館】</p> <p>①【共催事業】親子おたのしみ企画 ドキ土器考古学～縄文時代にタイムスリップ～（社会教育課との共催）（2回）</p> <p>②暮らしに役立つ実学講座 レッツ・エシカル消費！～あなたの力で未来を変えよう～（3回）</p> <p>【谷戸公民館】</p> <p>①子ども向け自然観察講座 石の話を聞いてみよう（1回）</p> <p>②親子で楽しむ講座 谷戸セミナー“セミの羽化観察会”Ⅳ（1回）</p> <p>③農業を知る講座（23回）</p> <p>【ひばりが丘公民館】</p> <p>①夏休み親子事業 星空を楽しむプラネタリウムシアター（2回）</p> <p>【保谷駅前公民館】</p> <p>①環境講座 土づくりと植物の不思議 種子にびっくりダネ！（4回）</p> <p>②【共済事業】地域講座 瞽女（ごぜ）唄が聞こえる（「高橋家屋敷林保存会」との共催）（2回）</p> <p>③親子講座 ネイチャークラフトを楽しもう（1回）</p>

共 催	内 容
公民館（3回） ※市民企画事業	<p>①アースデイネット連絡協議会（1回）（誰一人取り残さないSDGsなまちづくり）</p> <p>②西東京 自然を見つめる会（1回）（さがそう！夏の生き物 夏休み親子自然観察会）</p> <p>③放射能測定を考える会・西東京（1回）（東京電力福島第一原発事故から10年、被災地福島のいま）</p>

7.市の事務事業による温室効果ガス削減の取組

7-1 エネルギーに関する取組状況

西東京市では、令和2（2020）年3月に「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）」を策定し、地球温暖化対策のために職員が取り組むべき具体的な行動計画を設定し、全庁的に取り組んでいます。さらに、各課・各施設においても環境目標を定め、環境負荷の削減、環境保全活動の実践に努めています。

取組内容として、各部署は、年度ごとに環境目標及び年間環境活動計画を作成し、環境配慮行動チェックリストで自らチェックを行います。最後に、以上の成果を「環境活動実績評価表」にまとめています。

以下は、市の事務事業により使用されたエネルギーや廃棄物削減等の取組状況です。

① 温室効果ガス排出量（対象：全ての公共施設及び庁用車からの排出量）

	令和3年度実績値	令和2年度実績値	増減比
CO ₂ 換算総排出量	10,300,181 kg CO ₂	10,429,975 kg CO ₂	▲1.2%

（エネルギー別内訳）

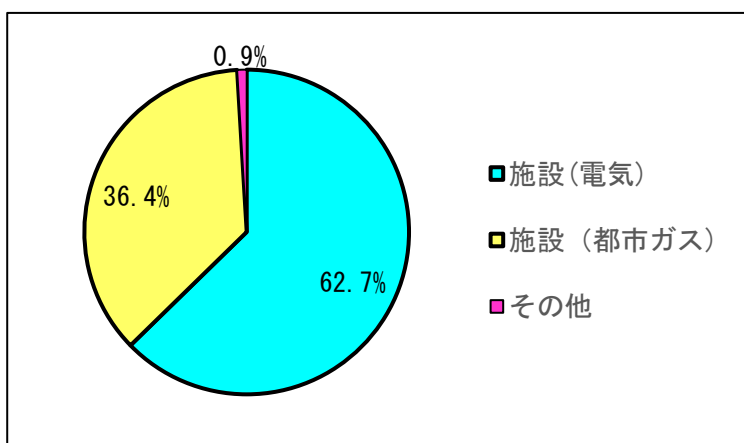
種別		令和3年度実績値	令和2年度実績値	増減比
施設	電気起源 CO ₂	6,456,997 kg CO ₂ 東電：2,466,679 kg CO ₂ 新電力※1：3,990,318 kg CO ₂	6,591,760 kg CO ₂ 東電：4,344,364 kg CO ₂ 新電力：2,247,396 kg CO ₂	▲2.0%
	A重油起源 CO ₂	81 kg CO ₂	81kg CO ₂	0%
	LPG起源 CO ₂	328 kg CO ₂	280 kg CO ₂	17.1%
	都市ガス起源 CO ₂	3,744,916 kg CO ₂	3,732,814 kg CO ₂	0.3%
	灯油起源 CO ₂	1,143 kg CO ₂	1,285 kg CO ₂	▲11.0%
	軽油起源 CO ₂	109 kg CO ₂	142 kg CO ₂	▲23.6%
	合計※2	10,203,574 kg CO ₂	10,326,362 kg CO ₂	▲1.2%
庁用車	ガソリン起源 CO ₂	55,648 kg CO ₂	55,504 kg CO ₂	0.3%
	軽油起源 CO ₂	39,444 kg CO ₂	46,579 kg CO ₂	▲15.3%
	電気起源 CO ₂ ※3	-	-	-
	冷媒起源 HFC	1,516 kg CO ₂	1,530 kg CO ₂	▲0.9%
	合計	96,607 kg CO ₂	103,613 kg CO ₂	▲6.8%

※1 市が契約した新電力：NF パワースービス(株)・(株)エネット・(株)UPDATER（令和3年度実績）

※2 小数点以下1位を四捨五入しているため、合計が内訳の計と一致しない場合がある。

※3 庁用車の電気起源 CO₂は算出不能なため未記載（施設の電気起源に CO₂に算出済）

図：市の事務事業による温室効果ガス排出量内訳



■施設ごとのエネルギー使用量 ※カッコ内は前年度の数字

	電気(kWh)		都市ガス(m ³)	A重油(ℓ)	LPG(プロパンガス)(m ³)	灯油(ℓ)	軽油(ℓ)
	東京電力	新電力					
市長部局	9,462,149	(8,997,763)	741,444 (708,033)	30 (30)	50 (43)	459 (516)	42 (55)
	4,659,190 (6,477,497)	4,802,959 (2,520,266)					
小学校	3,626,934	(3,354,465)	674,369 (669,020)	—	—	—	—
	458,773 (1,603,060)	3,168,161 (1,751,405)					
中学校	1,832,169	(1,402,012)	207,879 (211,140)	—	—	—	—
	0 (608,747)	1,832,169 (793,265)					
教育部局	1,130,589	(1,302,133)	45,165 (75,271)	—	—	—	—
	400,335 (816,963)	730,254 (485,170)					
合計	16,051,841	(15,056,373)	1,668,857 (1,663,464)	30 (30)	50 (43)	459 (516)	42 (55)
	5,518,298 (9,506,267)	10,533,543 (5,550,106)					

※ 教育部局は図書館・公民館を含む。

【電気に占める事業者の割合】

- ・東京電力 38.2%(前年度 65.9%) CO₂ 排出係数 0.447 kg-CO₂
- ・新電力 61.8%(前年度 34.1%)
 - ①NF パワースービス CO₂ 排出係数 0.464 kg-CO₂
 - ②エネット CO₂ 排出係数 0.373 kg-CO₂
 - ③UPDATER CO₂ 排出係数 0.126 kg-CO₂

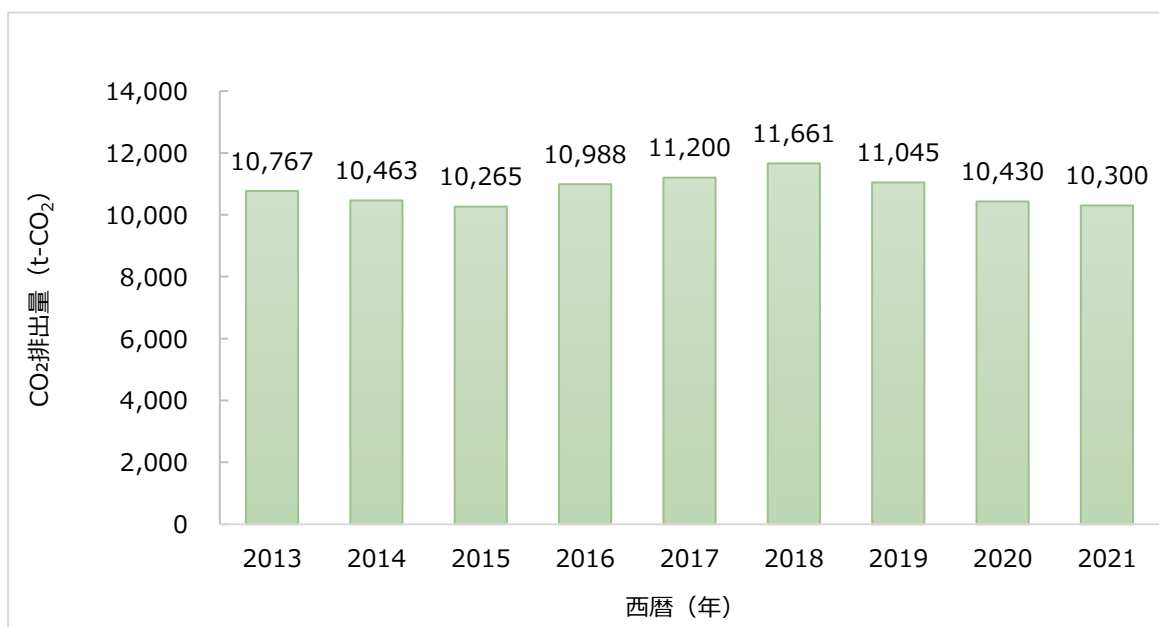
【西東京市ゼロカーボンシティガイドラインにおける目標値】

先述した「西東京市ゼロカーボンシティガイドライン」では、市が一事業者として、その事務事業から排出される温室効果ガスの削減について新たに目標を定めました。

- 2050年までに「温室効果ガス排出量を実質ゼロ」を目指します。
- 中間目標として、2030年度までに温室効果ガスの排出量を2013年度比（国基準年度）51%削減を目指します。

上記の目標値での削減割合は以下のとおりです。

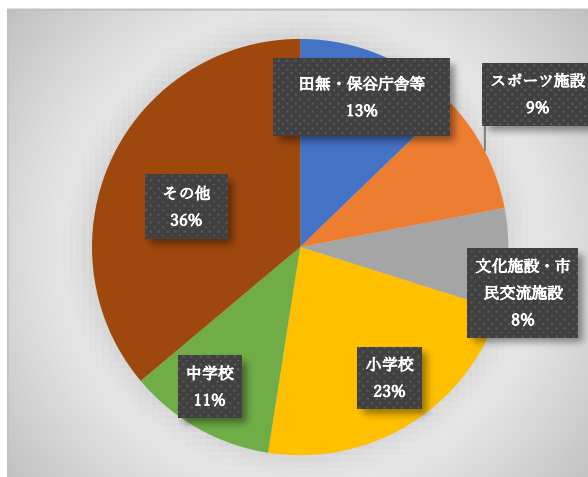
基準年度（2013年度）排出量	2021（令和3）年度排出量	中間目標（2030年度目標）	2050年目標
10,767t-CO ₂ （A）	10,300t-CO ₂ （B） 基準年度比 4.3%削減	5,275t-CO ₂ （C） 2013年度比51%削減	温室効果ガスの実質ゼロ
		2030年度目標までの達成率	
		8.5%達成 $(A-B) / (A-C) \times 100$	



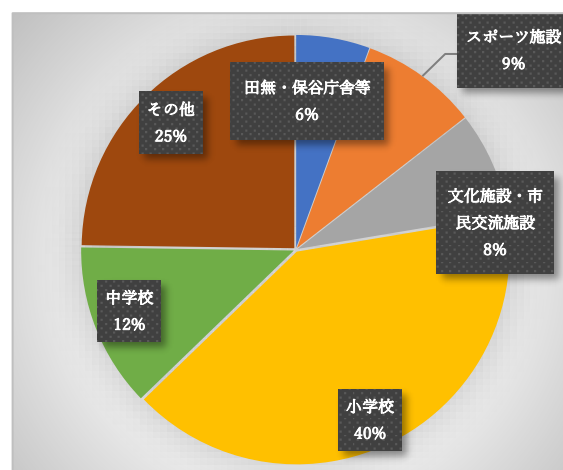
〔施設〕

施設全体としては、温室効果ガス総排出量は前年度比1.2%減となりました。前年度は新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館等による利用制限によりエネルギー使用量が減少しましたが、令和3年度は前年度より開館時間が増えたことにより、使用量は増加しました。ただし、温室効果ガス排出量の微減となっており、これはCO₂排出係数の影響と考えられます。

施設種類毎の電気使用量の割合



施設種類毎のガス使用量の割合



電気は、上の円グラフから、小中学校の割合が約1/3を占めることが分かります。市長部局は、田無・保谷庁舎、スポーツ施設、文化施設・市民交流施設の三者を合わせると施設全体の3割以上を占めています。さらに見てみると、スポーツ施設、文化施設・市民交流施設は、施設数も多く稼働時間の長い施設がほとんどです。

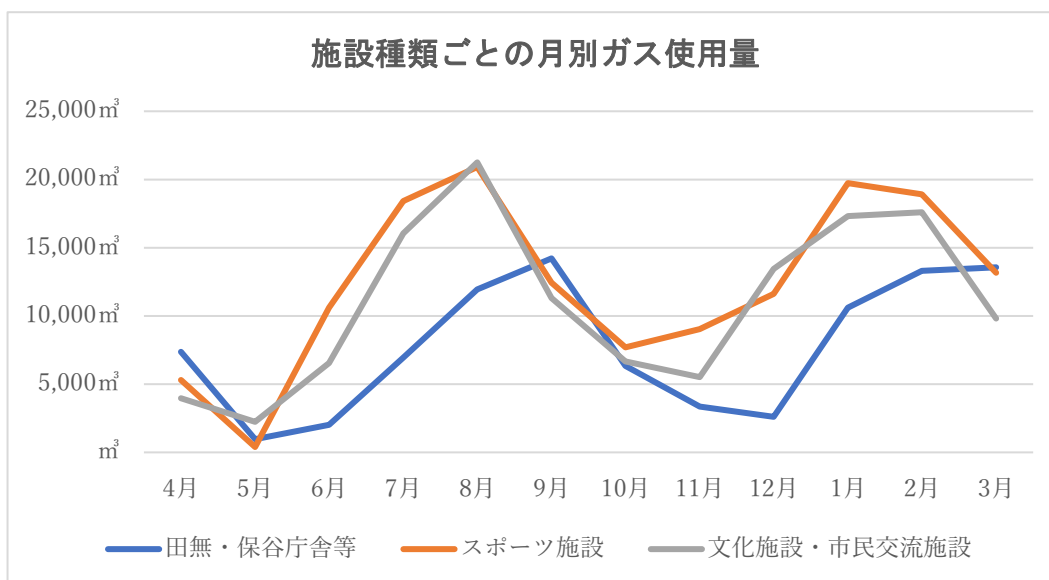
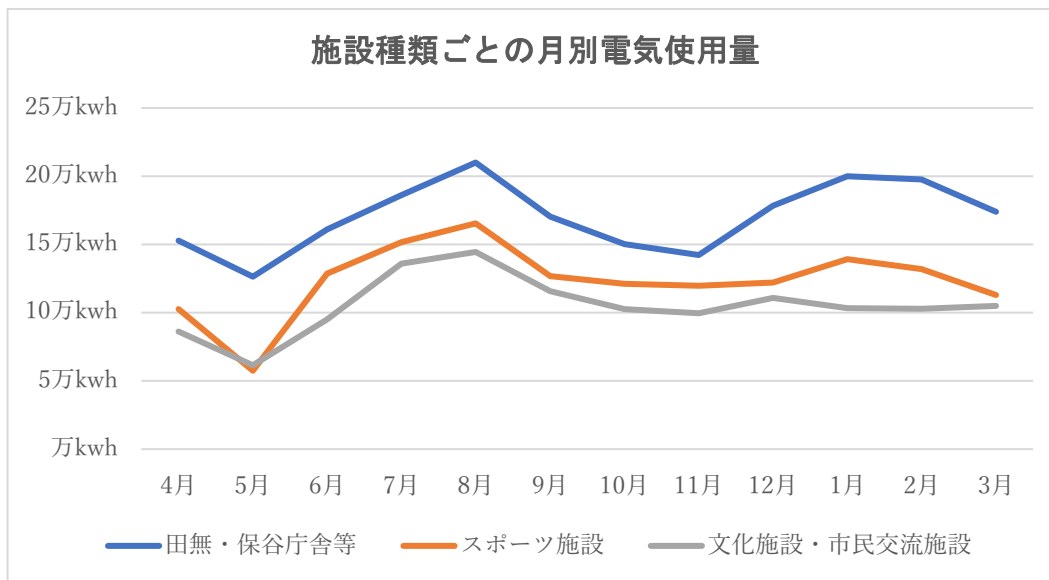
以上のことから、小中学校及びスポーツ施設、文化施設・市民交流施設に関しては、まずはそれぞれのエネルギー種別ごとに排出量の小さい施設で行われている取組を調査し、排出量の大きい施設への適用可能性を検討するなど、施設の規模や築年数に依らず、各施設ができる限り電気使用量を削減する取組を行うことが必要だと言えます。具体的には、利用のないフロアなどの空調や照明の見直しを行い、エネルギー効率の高い空調設備やLED照明を積極的に取り入れていくことが、更なる電気使用量の抑制に重要な取組となります。

都市ガスは、小学校・中学校における割合が多くなっています。小学校では給食調理時にガスを使用する点にあります。空調使用では、新型コロナウイルス感染症対策として換気も行いながら、使用したため使用量の削減には課題があります。

A重油は、重油の使用は田無庁舎の自家発電用途だけになります。

LPGは、学童クラブと消防団詰所の一部で使用されています。

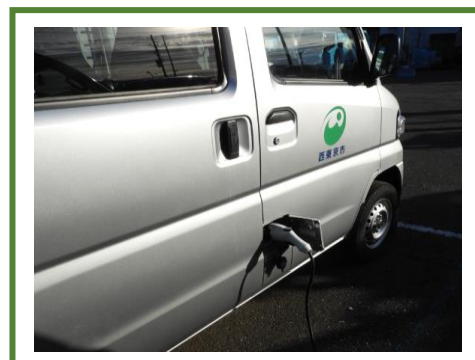
灯油・軽油は、それぞれ防災センター・保谷保健福祉総合センター、東分庁舎の非常用発電に用いられ、通常は試運転程度の使用で、温室効果ガス総排出量削減に大きな影響を与えるものではありません。



〔庁用車〕

庁用車において、前年度比 6.8%の温室効果ガス排出量の削減（前年度は 33.3%減）を達成しました。

市は 106 台（令和3年度末現在で貸与車を除く。）を稼働させています。令和3年度は前年度よりガソリン車、軽油車併せて 4 台を削減し、電気自動車は 2 台、プラグインハイブリッド※ 1 台を増車しました。



ガソリン起源 CO₂ 排出量は、前年度と比べ、0.3%の増となりました（前年度 44.7%減）。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大による事業縮小から事業が回復したことによることが要因と考えられます。

軽油起源 CO₂ 排出量は、前年度と比べ 15.3%減少（前年度 12.2%減）しました。

耐用年数の経過した庁用車を環境に配慮した自動車へ転換することで、温室効果ガス排出量の削減を図ります。また、エコドライブによる燃費の良い運転を心がけ、近場の移動には、自転車の利用を推進しています。

※プラグインハイブリッド(PHV)とは、電気自動車とハイブリッド自動車(HV*)の長所を合わせたクルマで、電気モーターだけで走らせることができます。ガソリンを使ったエンジンでも走行できるため、電池切れの心配がなく長距離運転も安心です。

*HV は、通常ガソリンエンジンで走りますが、走り出すときなどに電気モーターを補助的に使用します。環境にやさしいクルマの中で、現在最も普及しています。

燃料種類	台数
ガソリン	66 (69)
軽油	30 (31)
電気	7 (5)
プラグインハイブリッド	3 (2)
合計	106 (107)

※カッコ内は前年度の台数

② 水道使用量（対象：小・中学校を含む全公共施設の上水道使用量）

令和3年度実績値	令和2年度実績値	前年度比
292,433 m ³	274,350m ³	6.6%増

令和2年度は、新型コロナウイルスによる小中学校の休校や福祉会館などの公共施設の休館の影響、学校、保育園でのプール活動の自粛により、水道使用量は減少しましたが、令和3年度は、事業活動が戻り、前年度より使用量は増加しました。

庁舎などの公共施設では、節水の協力を呼びかけています。また、プールやお風呂等では適正な水の利用を心がけています。

■施設ごとの水道使用量

施設所管	上水 (m ³)
市長部局	101,873 (102,224)
教育委員会	6,352 (6,810)
小学校	150,353 (136,912)
中学校	33,855 (28,404)
合計	292,433 (274,350)

※カッコ内は前年度の使用量



③ 廃棄物排出量 (対象：小・中学校を含む全公共施設) ※不燃ごみは容器プラスチックを含む。

種別	令和3年度実績値	令和2年度実績値	前年度比
可燃ごみ	387,310 kg	328,370 kg	17.9%
不燃ごみ*	32,470 kg	31,830 kg	2.0%

前年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の休校、公共施設の休館によりごみの排出量が大きく減少しましたが、令和3年度は通常に戻り、ごみの量が増加したと考えられます。

無駄が出ないように事業に取り組み、廃棄物が出た際は、リサイクルやリユースに取り組んで、ごみの分別を心がけています。また、保育園でも園児がごみの分別を意識できるようにごみ箱を工夫しています。



④ コピー用紙購入量 (田無庁舎・保谷庁舎)

令和3年度実績値	令和2年度実績値	前年度比
11,312,000 枚	10,659,500 枚	6.1%

庁内のコピー用紙は、古紙配合率の高いもので白色度の高くないものを選択しています。日常業務では、両面コピーや裏紙利用の徹底、電子データで共有する等、紙の使用削減に取り組めます。



⑤ 封筒購入量（会計課で把握している封筒の持出量）

種別	令和3年度実績値	令和2年度実績値	前年度比
角2	25,330枚	32,910枚	▲23.0%
長3	87,500枚	84,230枚	3.9%

不要になった封筒は、庁内文書交換便の袋として再使用しています。令和3年度については、角2封筒の使用は前年度より減少しましたが、長3封筒の使用はやや増加しました。



⑥ グリーン購入率（対象：小・中学校を除く全課・全施設）

対象	令和3年度実績値	令和2年度実績値
市長部局	81.9%	94.7%
教育委員会	83.0%	98.1%

各課・施設においては、物品等を購入する際は「西東京市環境物品等の調達ガイドライン」で確認し、集計表等でグリーン購入率を管理しています。引き続き、職員掲示板等を通じ、グリーン購入の促進を周知し、更なるグリーン購入率の向上を目指します。また、グリーン購入率の低い部署には、確認を行い、必要に応じた助言や改善を求めます。

7-2 各課の環境活動

各課・公共施設の取組から特徴的な環境活動を紹介します。

1 エネルギーに関する取組

★省エネルギーの推進

令和3年度は、以下の公共施設で設備工事を行い、省エネ機器の改修、省エネ設備、LED照明器具の導入を行いました。

- ・みどり保育園空調設備改修工事
- ・保谷東分庁舎空調設備改修工事
- ・総合体育館空調設備改修工事
- ・中央図書館・田無公民館耐震補強等改修工事
- ・東学童クラブ改修工事
- ・田無小学校校舎内装大規模改造工事（第二期） 他

★再生可能エネルギーの推進

公共施設における再生可能エネルギー導入実績

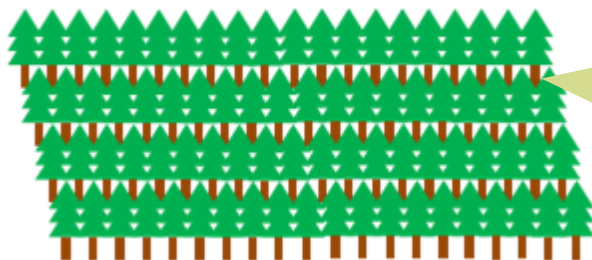
令和3年度末現在

- 太陽光発電設備 19箇所
- 太陽熱給湯設備 5箇所

★LED 照明器具の半額助成を実施

環境保全課

環境にできるだけ負荷を与えないまちづくりを目指し、平成 28 年度から助成事業を実施しています。令和3年度には 325 件（工事：44 件、購入：281 件）の助成を行いました。その結果、33,090kg-CO₂ の二酸化炭素（杉の木 2,364 本の吸収分）を削減できました。



LED への取替えて
二酸化炭素 33,090kg-CO₂
（前年度 27,318kg-CO₂）

★公園の灯具を LED 灯具に取替え

みどり公園課

LED公園灯について、既存公園の設置（取替え）を 4 公園実施しました。

★街路灯の灯具を LED 化

道路課

都内初となる ESCO 事業を活用し、市内全域の街路灯を LED 化しています。令和3年度は新たに LED 街路灯 2 基を設置しました。これにより、環境負荷の低減及び光熱費等の効果的な削減を図っています。



2 廃棄物の減量、リサイクルの取組

★フードドライブの実施

環境保全課・ごみ減量推進課

西東京市社会福祉法人連絡会が行っているフードドライブ事業に、協力し、エコプラザ西東京などで食品の受入れを行いました。

また、市主催によるフードドライブも令和3年度は 2 回実施しました。期間中に集めた食品は、食の支援が必要な方に配付しました。



★食品ロスの削減

危機管理課【賞味期限の近い災害備蓄食料を学校給食や市民団体主催の防災訓練等に積極的に活用し、入替に伴う処分量を削減】

○小学校給食用提供数：294 箱

○市民団体（3 団体）： 7 箱 『50 食／箱』

災害備蓄食料を提供することで、防災意識の向上が図れたことやフードロスなど環境への配慮という点においても活用することができました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響からか、例年より提供数が減少しました。例年利用している団体等以外にも広めるために、庁内掲示板など利用し、広報していきます。

★工事での環境物品(エコセメント等)の使用の徹底
道路課

二次製品のコンクリートとして、可燃ごみを焼却してできた灰を再利用した「エコセメント」があり、地面ブロック等の用途に使われています。このエコセメントを、全ての対象工事において使用しております。

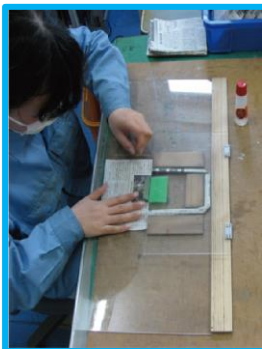
★古紙類の資源化促進

ごみ減量推進課【ざつがみばっぐの無償配布等】

令和3年度配布枚数 ざつがみばっぐ 2,174 枚(前年度 2,345 枚)

古紙類の資源化の促進を図るため、障害者自立支援に係る雇用により、新聞を活用した「ざつがみばっぐ」を作成し、田無庁舎、エコプラザ西東京において無料配布を行いました。

紙袋を使った分別排出し易い方法により、一層のごみの減量化と資源化を推進しました。



★ごみ分別アプリの活用

ごみ減量推進課

【ダウンロード数(累計)令和3年度 44,000 件】

※参考: 令和2年度 36,768 件、令和元年度 29,613 件

平成 25 年度にリリースしたごみ分別アプリを活用して、ごみの減量や排出マナーの向上を目指しています。周知を行うことで、利用者は年々増加しています。



★エコキャップ回収

幼児教育・保育課（保育園）

園児、保護者、地域の利用者、職員に呼びかけ回収し、保護者や地域への啓発にも繋がりました。



スポーツ振興課

施設内で購入した飲料水の空ペットボトルを、分別して捨てる際のキャップを回収するため、ペットボトル回収BOXの横にエコキャップ用の容器を配置しています。



★紙の再利用の取組

幼児教育・保育課（保育園）

梱包材として使用されている紙やカタログや広告は、製作時の台紙に使用した後、嘔吐時などに再利用したり、切って折り紙として再利用しています。



★不要タオルの再利用

幼児教育・保育課（保育園）

不要タオルを足ふきマット、雑巾等に再利用しています。その後更に汚物処理等に使用してから廃棄します。



★エコに関する事業の開催

児童青少年課（児童館（主なもの））

- ・牛乳パックを活用したマジックハンド作成（谷戸第二学童クラブ【北原児童館】）
- ・ペットボトルを活用した空気砲作成（谷戸第二学童クラブ【北原児童館】）
- ・ダンボール紙を活用した黒板作成（谷戸第二学童クラブ【北原児童館】）
- ・牛乳パックを活用して編み機を作成し、編み物工作を行った。（みどり学童クラブ【北原児童館】）
- ・ペットボトルキャップを活用したスタンドづくり【けやき学童クラブ】
- ・牛乳パックを活用したメンコづくり【中原学童クラブ】
- ・ペットボトル、牛乳パックを活用して船を作成し、水遊びを実施【けやき第二学童クラブ】
- ・段ボールを活用して犬小屋を作成し、ままごとあそびにて使用【けやき第二学童クラブ】
- ・ペットボトルキャップを活用し、麻紐を巻き付けた麦わら帽子型のマグネット作成【西原北児童館】
- ・木廃材を活用したクリスマスツリー作成【西原北児童館】
- ・牛乳パックを活用したワニのおもちゃ作成【新町児童館】
- ・ガムテープの芯を活用したおきあがりこぼし作成【新町児童館】
- ・荷物の梱包材を活用したハロウィンかぼちゃ作成【新町児童館】
- ・お菓子の空き箱や古いファイルの表紙の厚紙を活用したカラフルコースター作成【新町児童館】
- ・段ボールを活用した自動販売機、メリーゴーランド、ガチャガチャの作成（上向台第二学童クラブ【芝久保児童館】）
- ・空き容器やペットボトルを活用して虫かごを作成し、校庭で虫取りに利用した（芝久保第二学童クラブ【芝久保児童館】）
- ・近隣からいただいた松ぼっくりを活用したクリスマスツリー作り【保谷柳沢児童館】
- ・伐採後の蔓や花を活用したクリスマスリースの作成【保谷柳沢児童館】
- ・空きペットボトルを活用したキラキラボトル作成【保谷柳沢児童館】



3 みどりの保全の取組

★公園、緑地の活用

みどり公園課

・緑地保全地区の活用

下保谷四丁目特別緑地保全地区では、4月3日に春の一般開放イベントを実施し、455人来場しました。また、12月3日、4日には秋の一般開放イベントを実施し、延べ668人来場しました。



・西原自然公園の植生・管理

西原自然公園植生管理計画に基づき、植生管理委託で12本伐採しました。伐採木は応募者へ配布しました。



★小規模公園・緑地活用と地域管理の推進

みどり公園課

2020年度に「見つけよう！お気に入りのLittle Park」のプロモーション企画として紹介した14公園に看板を設置しました。看板を設置した数日後に、看板を見た近隣住民から「公園でコーヒーを楽しめる場を作りたい」などの相談があり、利活用に向けてのコミュニケーションツールとなりました。



★生産緑地地区の指定

都市計画課【令和3年度の指定状況：288地区（106.8ha）】

生産緑地地区として市内の農地等を保全することにより、良好な都市環境の形成が図られます。また、生産緑地地区は、環境保全、景観形成、生物多様性の保全だけでなく、避難所としての役割など多様な機能を有しています。しかし、年々減少傾向にあることから、その保全や新たな価値を創造するような検討を進めています。

★屋上緑化・グリーンカーテンも実施

公共施設に屋上緑化、グリーンカーテンを実施しています。



南町スポーツ・文化交流センター
(きらっと)



東伏見コミュニティセンター

★植物の育成

幼児教育・保育課（保育園）

全10園（直営）で実施。園庭の畑やプランターで、保育活動の一環として園児とともに草花（フェリッポ、ヒマワリ等）、野菜（ピーマン、オクラ、トマト、インゲン、キュウリ、ナス等）やグリーンカーテン（ゴーヤ、アサガオ等）を育てました。



なかまち保育園



すみよし保育園



けやき保育園

★道路の植栽帯の確保

道路課

市内における緑の創出のため、東京都苗木生産供給事業を活用し、市道における道路植栽帯の補植を行い、道路の緑化を図っています。

4 環境教育・環境学習の取組

★園児に対する環境意識の向上

環境保全課

保育園・幼稚園での出前講座の実施

環境保全課の職員が、保育園5歳児クラス6園、市内幼稚園2園に赴き、地球温暖化の話をスライドや寸劇などでわかりやすく伝えました。また、クールチョイスリーフレット（飛び出す絵本）を園児に配付しました。



幼児教育・保育課（けやき保育園）

3～5歳児クラスで、『地球のために、ぼくたち・わたしたちができること』をテーマに集会を行い、「できること」について話し合いました。また、その様子を知らせる掲示を作成したことで家庭への啓発にもつながりました。



★児童に対する環境意識の向上

環境保全課

小学校出前講座の実施

環境保全課の職員が、市内小学校3校に赴き、地球温暖化の仕組み、異常気象の影響、私たちが今できることを伝えました。また、小学生5年生に環境カレンダーを配付しました。



★環境関連図書の展示

図書館

保谷駅前図書館で環境に関する図書の常設展示を、また、谷戸図書館と柳沢図書館では、期間展示を実施しました。また、環境問題やSDGsに関して展示を実施し、特に児童書の展示も行うことで児童生徒に環境意識を高めてもらうように努めました。

5 その他の環境保全の取組

★農業振興、地産地消に向けた取組の推進

産業振興課

- ・農のアカデミー体験実習農園事業

89回実施、延べ697人参加

都市農地貸借円滑化法を使い農地を借りて「農のアカデミー体験実習農園」を開設し、小学校、幼稚園、保育園の4団体の受け入れをして農業体験を行いました。



- ・地産地消を目的としためぐみちゃんメニュー事業の一環として、農産物の販売及び農産物を使った加工品を販売するマルシェを開催しました。

田無駅北口ペDESTリアンデッキ

出品事業者：9事業者（農業者7、商工業者2）



★第15回縄文の森の秋まつり

社会教育課

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、動画配信によるオンライン形式でのイベントとしました。

全15動画公開、全体視聴数 2,082回



★雨水浸透施設設置に対する助成事業の推進

下水道課

住宅の屋根に降った雨を地下へ浸透させることにより雨水の流出を抑制し、これにより地下水のかん養及び潤いのあるまちづくりに寄与します。

令和3年度助成実績 9件 1,263,010円

★工事での透水性舗装の採用

道路課

歩道透水性舗装 349 m²車道透水性舗装 282 m²

透水性舗装は、雨水のかん養につながるとともに、空隙が大きく蓄熱性が小さいことから、夏場は一般のアスファルト舗装よりも表面温度が低くなります。よって、ヒートアイランド現象の緩和にも効果があります。

★eLTAX（エルタックス）

市民税課 【電子申告・電子申請の利用を推進し、税務事務の効率化を推進】

法人市民税 4,920 件（対前年度（4,694 件）比 4.8%増。）

個人市民税 187,207 件（対前年度（171,816 件）比 9.0%増。）

法人市民税の申告書について、毎月市内事業所への申告等案内の中で電子申告利用 PR を行い、個人住民税については、総括表送付時にエルタックスの案内を同封するなどして周知・利用率向上に努めました。

★固定資産税の減額

資産税課 【省エネ改修の促進及び認定長期優良住宅の普及により、廃棄物、CO₂の排出抑制を図る。】

①省エネ改修 9 件（前年度 2 件）

②認定長期優良住宅 115 件（前年度 67 件）

省エネ改修を年 4 回、認定長期優良住宅を年 3 回市報に掲載、ホームページには常時案内を掲載しています。内容の問い合わせは継続的にあり、今後も普及活動に努めます。

（※1）省エネ改修とは、窓、床、天井及び壁の断熱性を高める工事をいう。

（※2）認定長期優良住宅とは、長期優良住宅の普及の促進に関する法律（平成 20 年法律第 87 号）の規定に基づき、耐久性・安全性等の住宅性能が一定基準を満たすものとして認定を受けた住宅をいいます。

★滞納整理事務の削減

納税課 【口座振替の促進による収納率向上と資源の軽減】

ペイジー口座振替受付件数 令和3年度 369 件（前年度 854 件）

当初納付書へ口座振替依頼書、ペイジー案内書を同封したことにより資源の軽減に繋がりました。今後も、キャッシュレス決済などの納付方法と併せて、納税推進活動の工夫等により口座振替の推進に努めます。

★合成洗剤削減への取組

令和4年2月末現在

「手洗い・食器用洗剤」は合成洗剤ではなく石けんとし、全庁的に切替に取り組んでいます。

以下は、切替が終了した施設です。

- ・田無庁舎/保谷庁舎
- ・出張所 2施設
- ・市民集会所 10施設
- ・図書館 6館
- ・田無総合福祉センター
- ・住吉会館ルピナス
- ・コミュニティセンター 2施設
- ・保谷こもれびホール
- ・西原総合教育施設
- ・コール田無
- ・消費者センター分館
- ・福祉会館等 5施設
- ・障害者総合支援センター(フレンドリー)
- ・地区会館 11施設
- ・スポーツ施設 3施設
- ・西東京いこいの森公園

以下の施設については、合成洗剤も使用しています。

- ・保谷障害者福祉センター
（手洗い用・食器洗い用）…石けん（洗濯用）…合成洗剤
- ・保育園(16園)
石けん（手洗い用）…16園（食器洗い用）…12園（洗濯用）…14園
合成洗剤（食器洗い用）…4園（洗濯用）…4園（食器洗浄機用）…16園
- ・児童館・学童クラブ(47施設)
石けん（手洗い用）…47施設（食器洗い用）…39施設（洗濯用）…39施設
合成洗剤（食器洗い用）…8施設（洗濯用）…8施設
- ・エコプラザ西東京
石けん（手洗い用・食器洗い用） 合成洗剤（洗濯用）
- ・公民館(6館)
石けん（手洗い用）…6館（食器洗い用）…6館（洗濯用）…3館
合成洗剤（洗濯用）…4館
- ・小学校(18校)
石けん（児童手洗い用）…18校（食器洗い用）…18校（洗濯用）…17校
合成洗剤（洗濯用）…1校
- ・中学校(9校)
石けん（生徒手洗い用）…9校（食器洗い用）…9校（洗濯用）…8校
合成洗剤（洗濯用）…1校

7-3 内部環境監査

平成30年度より監査方法を見直し、庁内全ての部署を対象とした部課長出席のヒヤリング方式から設備更新の効果の検証に変更し、前年度に設備更新を実施した課（施設）を対象に工事の概要についてヒヤリングを行いました。

実施日 令和4年3月29日（火）

実施対象課・工事名

- （1）教育部教育企画課 工事名 保谷第二小学校受変電設備取替工事
- （2）教育部学務課 工事名 栄小学校給食室給湯設備改修工事

7-4 職員研修

時間的制約を受けず、職場の端末で効果的に行うことができるeラーニングプログラムによる環境に関する選択問題形式の研修を、市職員を対象に実施しました。職場で実践できる省エネのポイントや環境マネジメントシステムの知識理解等の問題が出題され、1,442人の職員が受講しました。

7-5 環境コミュニケーション

西東京市で行った大気や騒音等の環境調査の結果を、ホームページや事務報告書等で公表しています。

令和3年度までの過去5カ年において、市域にて発生した住民からの環境苦情は以下のとおりです。苦情の件数は年度によって変動はあるものの概ね横ばいとなっています。建設・解体工事等に関する騒音や、化学物質などによる悪臭、野焼きなどによるばい煙（大気）等の苦情が多く寄せられています。良好な生活環境の確保のためにも、適切な指導を行っていきます。

過去5カ年の環境苦情受付件数

現象別	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
大気	12	13	7	19	16
水質	1	0	0	0	0
騒音	39	31	45	52	39
振動	11	9	5	4	9
悪臭	19	8	21	13	12
土壌	0	0	0	0	0
その他	11	10	4	3	2
合計	93	71	82	91	78

7-6 環境法規制等の遵守状況

西東京市の各事業活動において、環境関連の法規違反及び訴訟、異常事態の発生等はありませんでした。

8 市長による全体評価及び取組

1 全体の評価

西東京市域での温室効果ガスの排出量は、近年減少の傾向にはあるが、気象状況により大きく変動するものであり、冷暖房機の適度な温度設定などによる省エネに努めることが重要である。

また、市の事務事業から発生する温室効果ガスの排出量は、前年度よりも1.2%の削減となったが、これは、CO₂排出係数の影響によるものであり、エネルギー使用量は増加となった。このことから、エネルギー使用量の削減が急務である。

なお、令和3年度の温室効果ガス排出量は10,300 t-CO₂であり、「西東京市第2次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）」の同年度の目標値（9,405 t-CO₂）とは大きな開きがある。同計画の目標年度である令和5年度の目標値（9,205 t-CO₂）を達成するため、積極的な省エネ設備への更新、全職員によるクール・チョイスを意識した日常業務におけるより一層の省エネの徹底、再生可能エネルギーの導入など、市組織を挙げての更なる温室効果ガス排出量削減に向けた取組を進める必要がある。

今後も、ゼロカーボンシティの実現に向けて、職員の創意工夫により、さらなる環境配慮行動の実践を行うこと。

2 今後の取組

市では、「西東京市第2次環境基本計画後期計画」及び新たに策定した「西東京ゼロカーボンシティガイドライン」を踏まえ、以下の取組を推進すること。

- (1) 施設設備において、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入、エネルギー効率の高い空調設備及びLED照明器具への取替を積極的に実施すること。特に利用者が多く、かつ稼働時間の長い施設は、エネルギー使用量が多いことから、財政状況を勘案しつつ、優先的に進めること。
- (2) 施設設備の更新には、多くの財源と時間を有すること、公共施設からの温室効果ガス排出量はその6割が電気使用によるものであることから、再生可能エ

エネルギー由来の電力調達も積極的に進めること。

- (3) 職員による環境配慮行動の推進には、環境に対する知識及び意識の向上が不可欠である。このため、入庁時における研修、全庁でのeラーニング研修など、機会をとらえて地球温暖化対策に関する研修を実施すること。
- (4) 次世代を担う子どもたちによりよい環境をつなげるためには、幼少期における環境教育は重要なものとなる。このため、保育園、幼稚園、小学校での出前講座の実施やリーフレット、副読本の配付など、様々なアプローチにより、環境学習の機会を提供すること。
- (5) 自治体間の連携事業で森林整備を行うことを通して市民が森林の重要性を学び、また市から排出される温室効果ガスのオフセットを検討すること。
- (6) 地球温暖化対策は、市民、事業者との協働により達成できるものである。このため、環境に関する情報発信、イベント、学習講座、表彰制度等の普及啓発事業に努めること。
- (7) 市域の温室効果ガスを削減するため、市民・事業者に対する新たな支援策を検討すること。

西東京市環境白書・環境活動レポート

令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）

発行：西東京市 令和5年2月

編集：西東京市みどり環境部環境保全課

〒202-0011

東京都西東京市泉町3-1 2-3 5 エコプラザ西東京

TEL：042-438-4042（直通）

FAX：042-438-1762